

飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第392号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2019年11月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Aim your hopes towards the stars in your early days

TOP*NEWS

第18回 高校体育祭開催



もう少しだ！頑張れ～！（障害物競走）



勝利を喜ぶサッカー部（部・同好会対抗リレー）



絶対わたさない！！（棒引き）



皆の期待を背負って！（色別対抗リレー（女子））

【撮影協力：写真部 他】

第18回 高校体育祭開催

秋晴れの炎天下の中の重圧

体育祭実行委員長 3年1組 川崎 恵祐

今回の体育祭は晴天に恵まれ、たくさんの方も応援に来てくださり、無事体育祭を成功することができました。少し不安もありましたが、先生方や生徒の皆さんのご協力のおかげで、特に大きな問題もなく進めることができました。ありがとうございました。

私事ではありますが、最後の体育祭で優勝を目指していただけに、赤組準優勝という結果は非常に悔しい思いです。勝って喜ぶ者、悔しさのあまり涙を流す者、皆さんさまざまな思いを抱いたと思います。1・2年生はその思いを来年にぶつけてもらいたいと思います。私たちが応援しています。

3年生は残りの行事も全員で協力して楽しみましょう!



玉入れ



ムカデ競走



ローハイド



障害物競走

棒引き



台風のみ



部・同好会対抗リレー



華のステージ



借り物競走



大玉おくり



障害物競走



色別対抗リレー(男子)



肩組競走

結果
色別対抗

優勝 緑組
準優勝 赤組

【撮影協力：写真部 他】

学年だより 中1

☆「はたらく消防の写生会」の受賞者発表☆

6月号でお伝えしました通り、今年も「はたらく消防の写生会」に、中等部1年生が参加しました。これは東京消防庁の主催で、多くの学校が参加しています。本校では、美術の授業時間に隣の高輪キャンパスにて消防車両を描きました。作品は、ボールペン画に着色で仕上げました。当日は好天候の中、皆しっかり車両を見て構図を取り、そして線を重ねることで形を表していました。

先日、東京消防庁から優秀賞等が発表されました。受賞者の皆さん、おめでとうございます！

- ◆優秀賞 A組 大野 笑美 B組 萩森 光希
- ◆入選 A組 小池 海颯・森田 優菜 B組 河原 佑興・中原 煌太

写生大会に行ってきました

期末試験明けの9月20日（金）、中等部全体で写生大会を行いました。秋の空気や自然を肌で感じながら、広々とした場所でそれぞれがお気に入りのものを描いていました。

晴天での写生

A組 今井 夏海

期末試験が終わったあと、ダメだ…という気持ちを晴らしてくれそうな晴天の中、自然の絵を描きました。立ち並ぶ木々、どこまでも続きそうな海、きれいな青空の中で私が描いたのは木々と観覧車です。木々の形と観覧車の細かい部分に気を付けました。色塗りでは美術の時間に習ったハッチングや明暗をつけることにチャレンジしてみました。すると小学生の時まで描いていた絵のレベルとは少し違うものになっていて驚きました。色鉛筆で鮮やかに明暗をつけるのが特に難しかったのですが、なんとか描き切ることができてよかったです。自分の写生が終わったあと、友達作品を見に行きました。すると、それぞれ違った良さを持った絵を見ることができました。違う視点で景色を見るとこんなにも違う作品になるのかと感心しました。とても楽しい1日でした。

絆

B組 中村 天来人

先日、葛西臨海公園で写生大会がありました。僕は絵が下手なので、何か大きくて目立つもの描こうとして近くにあった葛西渚橋を描きました。葛西渚橋は、葛西臨海公園と葛西海浜公園をつなぐ斜張橋で、塔が印象的で公園のシンボルになっています。葛西渚橋は大きくて描きやすいと思っていましたが、何度描いても、渚橋の絵の角度がおかしくなり、上手く絵が描けないでいました。しかし、周りにいた友人が絵を見せてくれたり、アドバイスをしてくれたので、参考にして描きました。そのおかげで、いつもの自分の絵よりも良い絵を描くことができました。あの時、周りの友人にアドバイスをもらわなかったら、今回自分が描いたような絵はできなかったと思います。今回の写生大会で改めて友人の大切さを感じました。



学年だより 中2

写生大会

期末試験明けの9月20日（金）に中等部全学年で写生大会を行いました。昨年は雨天中止となってしまったため、生徒たちは楽しみにしていたようです。今年は天候に恵まれ、清々しい空の下で思い思いの絵を描くことができました。

海の風景

A組 神田 哀黎

朝、お台場海浜公園駅と葛西臨海公園駅を間違えてしまったため、気持ちが向かなかった。しばらく友達と話していたらやる気が出てきた。観覧車などをスケッチしてみようと書いてあったのだが、観覧車以外はただの森でさみしい絵になりそうだったため、海の風景を描いた。描き始めがわからず、すごく悩んだのを覚えている。結局岩から描き始めたのだが、岩と岩のつなぎ目がすごく難しく、それぞれの岩の濃さを変えて描くようにした。また、パラソルを描くときは、立体的に見えるよう少し斜めに描いた。他にも、地面のデコボコさがわかるように、地面が盛り上がる木の根元をなめらかに描いたり、橋の下に岩のようなものがあつたから、その岩の表面がカチカチに見えるよう、ギザギザを描いたりした。色を塗るときは、雲や海を特に工夫した。風が吹いているのがわかるよう、雲のまわりに色を塗った。海と空を見分けられるように、海は水色っぽく、空は青色っぽく描いたのだが、実際には、色が海と雲で逆だった。

描き終わってからは、まっぼっくりを蹴ったり友達と話したりした。帰りの電車がなかなか動かないと思っていたら、電車を間違えていた。行きも帰りも大変な写生大会だった。

葛西臨海公園

B組 足立 望

9月20日、葛西臨海公園で写生大会がありました。僕を含めて5人で、木の下で絵を描きました。大きい橋や海など良い絵が掛けそうなものがたくさんありました。

最初の方は、なかなか描く絵が決まらなくて、画用紙に描いては消してを繰り返していました。でも何回もやっているうちに、海と島みたいなものを描くことにしました。

だんだん昼に近づいていくうちに影がなくなってきて、太陽はギラギラと照り付けてきました。それと同時に絵も完成に近づいていきました。

どこに何を描くかをだいたい決めて、その後は細かい所をつけ足したり、直したりしました。最後は、全体に色を付けて完成しました。絵自体はそこまで上手ではないですが、一生懸命描いた作品なので自信を持ちたいです。

描き終わった後、時間があつたので目の前にあつた海で少し遊んでいました。ゆっくり吹いてくる海風が当たると、すごく気持ち良かったです。

絵を描く時間はそこまで長くなかったのですが、久しぶりにこうやって外で絵を描いたことは良い思い出になりました。



学年だより 中3

卒業まであと半年!!

中等部生活も残すところあと半年になりました。中3前期を振り返り高校生活に向けて、中等部生活最後の半年をどのように過ごすのか、好きな四字熟語を選んでもらい、今後の目標を書いてもらいました。

初志貫徹
 最初に決めた志を最後まで貫くこと。途中で諦めず最後までやり遂げる。高校のためやテストのために今のうちから奮闘努力する。
 英訳) Piercing things aspirations decided to mind until.
 My style) Keep doing to the goal

A組 井上夏菜

奮励努力 (ふんれいどりょく)
 意味～ 気を奮い起こし、物事に努めて励むこと。
 高校のためやテストのために今のうちから奮闘努力する。
 英訳～ making strenuous efforts
 spirit wield wake up strive

B組 金子雛

博学篤志
 広く学んで、熱心に志すこと。学習する意欲が旺盛で、進歩が著しい。私は5科目7教科に入りたいと思っていて、理科や数学に興味がある。勉強が大好きで、今から色んなことに興味をもてたい。
 I'm a person with wide knowledge and passion for learning.
 I intend for eager to learn broad.

A組 金子鈴佳

積土成山
 意味: わずかなエタも積み重ねれば山になる。
 ① 塵古積もれば山となる
 目標: 小さなことを簡単に諦めない。下さるよう努力し、美に変える。
 A penny a little makes a quibble
 Mean: Making steady efforts can be useful for your future.

B組 松木遥佳

敢為邁往
 意味～ 目的に向かって困難なものでもせず自らの意のままに邁進すること。
 目標～ 高校に入った野球部に入りたいから高校で活躍が出来る準備をする。
 英訳～ Over come the difficulties and go straight to wards their goal.
 韵流～ I'm head to wards the goal.

A組 上野克登

凡事徹底
 意味 当たり前のことでも徹底すること。他人の通達を許さないこと。勉強復習ではツラク基礎練習や知識や整理整頓やあいさつ毎日必ずやることを徹底する。
 英訳 Do all the common tasks properly.
 韵流 Natural that the thorough do.

B組 名取健

雲外蒼天
 意味: 困難を乗り越え、遠くを飛ぶ。高い空が望めるという意味。
 目標: 受験で出た大企業に合格したい。努力が実を結び、夢を叶える。
 英訳: Sky beyond the clouds, zure sky.
 自分の英訳: clouds on the side is the blue sky

A組 三嶋健豊

戮力協心
 意味 全員が力を集結させ、物事に取組む。～ 卒業後の学校の事を、皆で協力し、力を取り組む。
 英訳 To cooperate in smething things.
 韵流 Help each other to achieve things.

B組 野村怜詩

学年だより 高1

体育祭

9月27日に体育祭が行われました。学年を超えた構成で、それぞれのクラスが競い合い、競技を楽しみました。その感想をお届けします。

1組 蓮沼寛太

私は、大玉おくりと色別対抗リレーに出場しました。大玉おくりは、先頭でうまく後ろに運ぶことができほっとしました。また、色別対抗リレーは、走者を抜かすことができませんでしたが、抜かされもしなかったのがよかったです。今回、サッカー部が準備、運営、片付けまですべてしてくれたので感謝したいです。

2組 亀ヶ谷美里

私は、肩組競走、華のステージ、そして大玉おくりに出場しました。肩組競走では、最初は少してこずりましたが、後半は軌道に乗って速く走れてホッとしました。華のステージは、他の学年と交流でき、面白かったです。そして大玉おくりは、みんなで楽しくできました。色別対抗リレーの応援では、自分のクラスの人をみんなでも応援し、団結力が高まりました。

3組 長谷川 荘馬

私は、台風の目に出場しました。みんなの足を引っ張らないように頑張って競技に参加しました。応援で最も白熱したのは、部・同好会対抗リレーです。走っている人のパフォーマンスや応援している人の熱気がすごく、圧倒されました。体育祭終了後は、クラスの団結力が強くなったと思います。

4組 西山結稀

私は、玉入れと、大玉おくりの競技に参加しました。どちらもクラスのために頑張ることができたと思っています。また、部・同好会対抗リレーの応援は白熱しました。パフォーマンス部門では、それぞれの部活動の良さを観客に上手に見せていました。また、足の速さに自信のある部活動が、他の運動部と真剣勝負をしていたのは感動しました。クラス内は、今回、優勝したこともあって、より絆が深まりました。

5組 植木集

今回、ローハイド、棒引き、大玉おくりに参加しました。ローハイドでは、一回騎馬が崩れてしまってチームに迷惑をかけてしまったので、騎馬の構成を考えればよかったなというのが反省点です。棒引きでは、相手が3年生で力の差を感じましたが、チームの仲間と楽しくできたのでよかったです。最後の大玉おくりも、結果は良くありませんでしたが、協力できたと思います。体育祭終了後、クラスとしては、少し疲れは見えましたが、よりまとまった気がしました。

6組 清原 寿平

私は、ローハイドと大玉おくりに出ました。ローハイドでは、私が騎馬になり上の人を支えることができ、競技を楽しめました。応援では、色別対抗リレーにおいて、学年の幅を超えて皆が協力していた姿はとても感動しました。また、応援がとてもしつこい雰囲気だったのが心に残りました。

7組 杉山 舞衣

ムカデ競走では、みんなで足を揃えて進むのが大変でした。また肩組競走では、3人4脚で左右の掛け声ができなくて苦戦しました。大人で行う大玉おくりも、大玉が前に飛んでいってしまい、全然触ることができませんでした。自分は参加しませんでした。部・同好会対抗リレーの応援は、先輩が演技・演奏していたのを、吹奏楽の部員が集まって応援できてよかったです。

8組 寺中 ありさ

借り物競走では、最下位になってしまいましたが、青春という感じがして、楽しかったです。障害物競走では、パン食いの時に1位になることができ、嬉しかったです。そして、色別対抗リレーでは、男子が1位を取ってくれたので嬉しかったです。また、みんなも一丸となって学年間わす、同じ色を応援し、とても盛り上がりがあったのが印象的でした。

9組 日比谷 采音

小学生ぶりに玉入れをしました。範囲が決まっていて、玉を上手に入れることができませんでしたが、楽しむことができました。色別対抗リレーでは、色ごとに一致団結して応援することができました。リレーの選手も一生懸命に走っていましたが、すごく接戦していたので、観戦していても楽しかったです。大会の運営のおかげで、体育祭がスムーズに進んだと思います。ありがとうございました。

10組 藤井 武

ローハイド、大玉おくり、台風の目に出場しましたが、どの競技も楽しめました。部・同好会対抗リレーは、それぞれの部活動ごとに見どころがあり、見ていて飽きなかったです。本当に楽しかったです。クラスの仲間や、大会運営に携わってくれた生徒や先生方には感謝しています。



学年だより 高2

体育祭

体育祭が行われました。朝から気温が上昇し、熱中症の恐れもありましたが、生徒たちはたくましく、競技に臨んでいました。生徒たちの感想をご覧ください。

2組 山本 卓未

今年も天候に恵まれ、素晴らしい青空の下、東海大学付属高輪台高等学校の体育祭が行われました。赤、白、青、黄、緑の5色が熱戦を繰り広げました。僕たち白組は4位となってしまいました。悔いは残っていません。新しいクラスになり、体育祭を経て、絆がより深まりました。

4組 三枝 日菜

今年の体育祭は、優勝することができました。学年に関係なく、緑組全員で頑張ったので、勝つことができたのだと思います。私は、今回の体育祭でのいろいろな種目の中で、クラスメイトと交流ができたので、とても楽しかったです。

6組 榎本 武蔵

僕は、今回の体育祭で応援の大切さを知りました。リレーで走っている時に友達が応援してくれて、緊張が少しほぐれて、1位でバトンを渡すことができました。優勝はできなかったけれど、楽しかったのでよかったです。

7組 銭 宏

今回の体育祭で僕は周りとの協力する大切さを学びました。参加したのは玉入れでしたが、リレーや綱引きなどを応援していて、チームワークの大切さを知りました。残念ながら今回は優勝することができませんでしたが、来年の最後の体育祭で優勝できるように全力で頑張りたいです。

8組 稲垣 直

今年度は昨年度と違い、新しい競技が増え、皆がどの種目も楽しそうに参加していました。特に色別対抗リレーでは、それぞれの色に一体感を感じました。結果は4位でしたが、来年は最後となる体育祭なので、最高の思い出になるようにしたいです。

9組 大村 翼人

私は今回の体育祭を通して、仲間との絆や何事も全力で行うことの大切さを学びました。仲間との絆は色別対抗リレーの時に感じました。それ以外でもみんな一つ一つの競技に全力で取り組んでおり、輝いて見えました。来年は私も輝けるように、一生懸命に体育祭に向けて頑張りたいです。



学年だより 高3

探究活動を通じて得たものは…

10月2日(水)4時間目、3年生の1~9組は2年生の後期から取り組んできた「探究活動」のまとめとしてのポスターセッションを行いました。この探究活動は、同じクラスの3、4名の仲間たちとチームを組んで一つのテーマについて探究していくものです。今回はポスターセッションの経験豊富なSSHクラスの仲間たちも加わって、後期から探究活動が始まる2年生を聴衆に発表をしましたが、上手にできたでしょうか? それでは、各クラスからの感想や報告をお楽しみください。



「探求!」「探究!」

私は「探求」と「探究」は何が違うのだろうと思い、調べてみました。探求は「ある物事を得ようと探求すること」。探究は「物事の本質や意義を探って見きわめようとする事」です。各班の発表は深く掘り下げた内容がたくさんあり、素晴らしい発表会になったと思います。

1組 平井 稜真

探究活動の発表を終えて

私たちは「各スポーツ選手による最適な筋肉量と体脂肪率」というテーマで探究活動に臨みました。その中でプロテインと筋肉量の関係について自ら被験者となり、5週間実験をしました。被験者となったことも、結果をまとめて発表したこともとても良い経験になりました。

2組 久保田 大仁



初めての探究活動を終えて

私たちは2年生の時からずっと「如何にして線香花火を長持ちさせるか」というテーマで探究活動をしてきました。学校でひたすら線香花火を使い実験するのは地道な作業ではありましたが、たくさんのデータをとり、グラフを作ることで客観的に学ぶことができました。

3組 向野 翔介

探究活動を通して

私たちの班は「視力の差は主に何によって変わるのか」を探究し、発表しました。一つのことを追究することで新しい発見を数多くすることができ、とても勉強になりました。約1年半の探求活動の総まとめとしてふさわしいポスターセッションを行うことができました。

4組 高橋 琴美



シールの綺麗なはがし方について

私たちは身近なものを題材にしようと考え、たまたま机に貼ってあったシールを見て、「シールの綺麗なはがし方について」というテーマに決めました。ポスターを作るにあたって、班のみんなと文章を考えたり実験したり、普段の授業ではあまりできないことができ、良い経験ができたと思います。

5組 橋本 恭祐

初めての「探究活動」を終えて

私たちは「左右の筋肉の違い」について調べました。本番では、2年生が大勢見に来てくれて緊張しましたが、自分たちの調べた課題について自分の意見をしっかりと述べることができました。また、今後の生活や就職時に役立つ大切な経験ができてよかったです。

6組 神 祐香



ポスターセッションを終えて

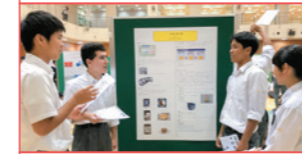
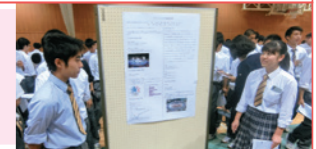
私は探究活動を通して、1年間という長い期間で自分の好きなことを調べ、まとめて、発表をし、これまで以上の理解を深めることができました。このような機会はあまりないので、とても良い経験になりました。

7組 原 伊吹

探究活動

今回の探究活動で、私たちの班は「AIに奪われる職業」について発表しました。この授業は2年生の頃から取り組んでいて、長い時間をかけて制作したのでとても良くできたと思います。今回の発表の経験を今後将来に活かしていきたいです。

8組 榎本 大耀



探究活動

今回の探究活動の発表は、初めてということもあり、少し緊張しながら行いました。しかし、今思えば、班員が互いに協力したことで良い作品ができたのでよかったです。この活動で得た経験などは、今後の生活や大学生活でも活用できるので活かしていきたいです。

9組 本田 爽太郎

ポスターセッション

多くの方が発表を聞きに来てくれたので、ポスターに書いてある文字をただ読むのではなく、一つ一つ丁寧に説明しました。しかし、時間内に伝えられなかったことが反省点としてあるので、次の発表(SSH成果発表会)では時間も意識してポスター発表をします。

10組 白石 一也



ベストティーチャー・タイプA候補決まる

5月16日、9月12日に「生徒による授業評価アンケート」を実施しました。その結果、今年度のベストティーチャー・タイプA候補として9名の先生方が決まりました。保護者の皆様には、11月14日(木)、15日(金)の「一斉公開授業」をはじめ、11月21日(木)までにご都合の良い日にご来校の上、9名の先生方の授業をご覧いただき、「保護者による授業評価アンケート」にご協力をお願いします。

【2019年度ベストティーチャー・タイプA候補一覧】(教科順)

	教員名	教科
中等部	益田 康誠	国語科
	近藤 祐輔	社会科
	鈴木 滉平	英語科
高等学校	數馬 大介	国語科
	深澤 建人	地歴公民科
	石堂 孝明	数学科
	大塚 一磨	数学科
	宮田 和舞	理科
	齋藤 信雄	芸術(音楽)科

※付記

過去3年間にベストティーチャー・タイプAを受賞した者は、規定により選考の対象から外れています。

2016年度：古田 奈穂・高橋 光太

2017年度：稲葉 哲之介・宮崎 孝一・新井 達也

2018年度：田中 亨・和氣 吉秀・吉澤 俊介

※授業実施時間割は、学級担任または学校までお問い合わせください。
「一斉公開授業」の時間割は、前日に生徒を通して配布いたします。
なお、中等部1年生・高校1年生につきましてはclassにて配信いたします。

2019年度学校運営方針

学校運営方針の実践目標を今月も紹介します。本校の基本方針と取り組みを、生徒・保護者の皆様にご理解とご協力をいただきたいと思います。

1. 実践目標

●実践的な英語を身につけ、国際社会に適応できるよう英語教育の推進を図る

- ① GTECに対応したCALL指導方法の構築。
- ② 語彙力を高めさせる。
- ③ 多読を推進する。
- ④ GTEC・英検・TOEIC®・TOEIC Bridge®・TOEFL®等、各種資格の取得を勧め、指導する。
初等中等教育課で立ち上げた「英語力アップのための3つの宣言」実現のために本校では、初等中等教育機関の目標値をクリアする。また、本校に適した目標値を設定し直す。
- ⑤ TOMASによるオンライン英会話の推奨。
- ⑥ 英語によるディベート・プレゼンテーションを指導する。
- ⑦ 海外の学校との交流を通して生きた英語力を身につけさせる。

本校では昨年度まで中等部で英検、高校ではTOEIC Bridge®を受検していました。学園では来年度よりGTECを受検することに決まりましたが、本校ではそれを先取りして今年度から高校生は6月にBasicを、中等部2・3年生は8月にCoreを受検しました。試験では「読む・聞く」だけでなく、「書く・話す」の4技能すべてが求められます。成績票には、それぞれの技能の得点が表示され、自分の課題が見えてきます。中等部1年生は11月1日にJuniorを受検、高校生は12月7日に第2回目が予定されています。全員が自分の目標を定め、日ごろの生活の中で英語を学ぶ意識を持ってほしいと思います。



❖ ロシア・ロマンスコンサート ❖

10月3日午後、ロシアから素晴らしいお客様が来校しました。ピアニストのガリーナ・レオブラジェンスカヤさん、男性テノール歌手のセルゲイ・ペトリシェフさん、女性ソプラノ歌手のガリーナ・ベトケヴィチさん、大使館や通訳の方々です。初めにロシアの歌を聞かせていただき、お礼に本校の吹奏楽部の演奏を披露しました。

素晴らしい歌声を聞いて吹奏楽部の手塚さんは「歌声の美しさはもちろんですが、表情や身体での表現が素晴らしく、とても楽しかったです!」と話してくれました。また、本校吹奏楽部の演奏を聴いて、ピアニストのガリーナさんは「素晴らしいパフォーマンスでした!若い学生たちの溢れ出るエネルギーにとても感動しました」と話してくれました。音楽を通して、素晴らしい交流ができたと思います。



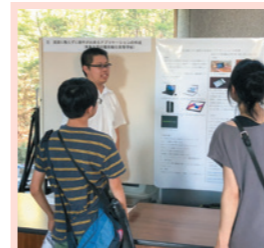
SSH活動報告

数学分野に特化した研究発表会に出席(8月24日/兵庫県西宮市)



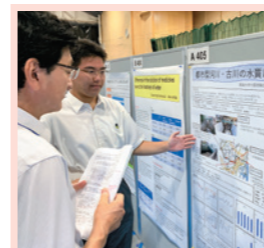
3年10組 大橋 瞳子
私は関西学院大学で行われたマifestaに参加しました。全国から100名以上の高校生が集まり、数学に関する自分の研究成果を口頭発表やポスター発表で披露しました。初めに口頭発表が行われ、各校の代表生徒によるとても有意義な発表を聞くことができました。一人ひとりの数学に関する知識がとても高く、すでに研究されているものを参考にしたのではなく、その実験を選んだ目的や方法、結果、考察まですべて自分で考えて結論を出している人もいて衝撃を受けたと同時に、自分の数学に対する知識のなさを実感しました。また、私では思いつかないような研究をしている人が多く、とても刺激を受けました。ポスター発表では他校の生徒さんから質問やアドバイスをたくさんいただき、とても参考になりました。他校の生徒さんと交流する機会はなかなかないので、良い経験になりました。この発表会への参加を通して、私ももっと勉学に励んで数学の知識を高めようと思いました。

核融合科学研究所のオープンキャンパスで研究成果を披露(9月7日/岐阜県土岐市)



3年10組 新出 翔太
「井の中の蛙大海を知らず」——この発表を通じて感じたことです。自分の知っている世界はこの学校の研究だけで、外の研究は全く知りませんでした。しかし、今回NIFS(核融合科学研究所)のオープンキャンパスで大海を知り、新しい視点を得ることができました。自分が発表した内容は、発表するには進捗が遅すぎるものでした。そのため、内容の深さでまわりに挑むのはいささか無謀でした。ならばどのように挑むのか必死に考えました。そして考え出したのは、プレゼンテーションを面白いものにするか、何に共感しやすいものにするかでした。プレゼンテーション中、頭の中は常に何を加えた説明にするか、何に共感してもらえるかを考えていました。そんなプレゼンテーションの結果は賞こそ取れませんが、このイベントを主催した職員の方にプレゼンテーションのやり方や研究の着眼点は褒められたので、今後もこの経験を糧に頑張っていこうと思います。

大学主催の「高校生理科学研究発表会」に参加(9月28日/千葉県)



3年10組 宮川 虎伯
私は千葉大学で行われた第13回高校生理科学研究発表会に参加して、「都市型河川・古川の水質について」という題目で、学校の近くを流れている河川の水質調査の結果について発表しました。一度外部での発表を経験したことはありましたが、発表の練習をしっかりと行っても、早口にならないか、説明がわかりづらくなるかなどと心配になってしまい、とても緊張しました。しかし、同級生や他校の生徒や先生、大学の研究者や一般の方など、多くの人に発表を聞いていただくことができました。発表後に質問や指摘、アドバイスを受けて、自分のポスターの改善点や間違っていた点などを発見することができ、とても良い経験をすることができました。また、他校の発表を聞くことで水質に関するものは勿論のこと、化学や生物など他の分野に関することも学ぶことができました。今後もこのような発表会に参加する機会があれば、ぜひ参加したいです。

環境問題に関する研究を英語で発表(10月2日~6日/ロシア連邦)



3年10組 松下 啓樹
私と澤田強希君はロシア連邦のガスプロム校で行われた国際科学技術会議に参加しました。この会議には日本の他に、ドイツのレオトルストイ校、中国のルーヘイ校が参加しました。プレゼンテーションのテーマは「大都市の環境問題」で、私は「自然環境に考慮した災害対策」について、澤田君は「プラスチックの劣化」について発表しました。プレゼンテーションは私たち生徒が英語を、通訳の方がロシア語を担当するという形式で、慣れない同時通訳により予定より時間が延びてしまったり、スライドがロシア語と合わなかったりトラブルがありましたが、十二分にやり遂げることができました。また、各分野のエキスパートの方も招待されており、鋭い視点からの質問や提案を受け取る機会があり、とても貴重な体験となりました。最後に、この会議で澤田君が最優秀賞を受賞でき、私としてもとても光栄で嬉しいことだと思いました。

SSH活動速報

- | | | |
|---------|------------------|--------------------------------------|
| 10月 2日 | 探究活動Ⅱ | ポスターセッションの実施 |
| 10月 4日~ | アカデミックプレゼンテーションⅡ | 課題研究に関する英語プレゼンテーション準備の開始(全5回) |
| 10月 4日~ | アカデミックプレゼンテーションⅠ | CLILによる化学に関する英語発表準備の開始(全5回) |
| 10月 4日 | 公共科学演習 | 国語科教員による学校教育の未来予想に関するワークショップの実施 |
| 10月 7日 | 公共科学演習 | 家庭班による化粧品に関するプレゼンテーションの実施 |
| 10月 9日~ | 探究活動Ⅱ | 論文作成の開始(全6回) |
| 10月14日 | 企業連携 | ポスター発表の実施 |
| 10月18日 | 公共科学演習 | 家庭科教員による化粧品に関するワークショップの実施 |
| 10月18日~ | 公共科学論 | 保健体育科教員によるユニット授業「科学と生命と公共」の実施(全3回) |
| 10月19日~ | サイエンス基礎 | 実験数学「グラフ理論」の実施(全2回) |
| 10月21日 | 公共科学演習 | 保健体育班による生殖医療に関するプレゼンテーションの実施 |
| | | 保健体育科教員による生殖医療に関するワークショップの実施 |
| 10月25日 | 公共科学演習 | 外国語(英語)班による多言語文化に関するプレゼンテーションの実施 |
| 10月28日 | 公共科学演習 | 芸術(音楽)班による音楽が人に与える影響に関するプレゼンテーションの実施 |

お知らせ

2019 東海カルチャーセミナー

❖日時: 11月30日(土) 13:00~15:10 (12:30受付開始) ❖会場: 本校アリーナ

第1部 本校吹奏楽部によるコンサート

指揮: 畠田 貴生

曲名: 1. マーチ『アルセナール』 2. 宝島 ほか(予定)

第2部 講演会

講師: 土井 崇司 先生 (東海大学付属相模高等学校中等部 副校長、ラグビー部顧問
学園ラグビーコーディネーター、元東海大学付属仰星高等学校 ラグビー部監督・総監督)

テーマ: 「勝ち取った優勝の裏側」

行事予定

November 11月

December 12月

- 1日(金) 建学77周年記念日 GTEC Junior受検日(中1)
- 2日(土) 朝礼 短縮授業
- 3日(日) **文化の日** 受験生・保護者対象学校説明見学会④(高校)
- 4日(月) **振替休日**
- 5日(火) 校医相談日⑦
- 6日(水) 木曜日の授業
- 7日(木) 学園高大連携総合試験(高3)
基礎力判定試験(高1・2) 外部実力試験(中等部)
- 8日(金) 付属推薦小論文試験(高3)
小論文コンテスト(高1・2) 作文コンテスト(中等部)
1・3・4時限授業(5・6時限カット)
- 9日(土) 創立75周年記念式典
- 14日(木) 一斉公開授業②(~15日) 合唱祭[1・2時限](中等部)
- 16日(土) 保護者会(中等部3年)
- 21日(木) 生徒による授業評価アンケート③
- 23日(土) **勤労感謝の日**
- 25日(月) 火曜日の授業
- 26日(火) 後期中間試験(高1・2:~29日、中等部:~27日)
卒業試験(高3:~29日)
- 28日(木) AM:スポーツ大会・PM:キャリア教育(中等部)
- 29日(金) 校外活動(中等部)
- 30日(土) 3時限授業 東海カルチャーセミナー 後援会委員総会③
生徒自宅学習日(高3)

- 1日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会⑤(高校)
- 2日(月) 朝礼 短縮授業 答案返却(高3)
- 3日(火) 特別講座開始(高3)
- 5日(木) 学年集会③(中3)
- 7日(土) GTEC受検日②(高校)、後援会湘南校舎見学研修会
- 8日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会⑥(中等部)
- 9日(月) 2時限授業 後期中間試験答案返却
- 10日(火) 校医相談日⑧
- 12日(木) マナー講座(高3)
- 15日(日) 高校入試相談
- 16日(月) 高校入試相談(生徒自宅学習日)
- 19日(木) 振替休日(生徒自宅学習日)
- 20日(金) 月曜日の授業
- 22日(日) 付属推薦入試合格者説明会(高3)[湘南校舎他]
- 24日(火) 冬期休暇前諸注意・大掃除(5・6時限)
- 25日(水) 冬期講習(~28日)
- 30日(月) 年末年始休暇(~1月4日)

「高校体育祭」優勝☆緑



編集後記

先月の編集後記で「暑さ寒さも彼岸まで」と書かせていただいたが、10月に入っても季節はずれの暑さが続いた。また、かつて経験したことのない大型の台風19号が関東地方を直撃、各地に甚大な被害をもたらした。これらは温暖化によるものなのであろうか。先般、国連本部で開かれた「気候行動サミット」でスウェーデンの環境活動家グレタ・トゥンベリさん(16歳)が各国首脳を前に気候変動の危機を訴えかけた。豊かさや経済的繁栄の一方で地球規模での気候変動が起こっている。私たちに今求められているものとは…?(ほ)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>